

残りの評価点の2点はそのままとした。

- 指標3は十分とは言えないが、評価ポイントとしては成立しているものと考えている。ただし、評価コメントについては、再考する。
- 3次評価のコメント欄で「検討する」との表現が散見されるが、市民の視点から見て「やらないことの意味表示」と受け止められかねないのではないか。
- 3次評価のコメント欄に関しては、あくまで委員会からの指摘事項として記載しているものである。ヒアリング済みの事業については踏み込んだ指摘も可能と思われるが、評価シートのみで評価しているものについては、現状の表現に留まるのではないかと考える。
- 「検討する」に表現については、真意が伝わりやすい形に変更したい。
- 評価作業を行う度に、指標設定が不十分と感じる。そういった点をできる限り指摘事項に反映されたい。
- 指標設定をもっと適切に行う必要がある。
- 指標の適正化は重要かつ困難な課題であり、試行錯誤を重ねている状況である。良いお考えがあれば、是非ご教示いただきたい。
- 施策番号12110の解決策は具体性が無く、解決策とは言い難い。
- 施策番号16120は、ハコモノ造り以外の解決策を示せないのだろうか。
- 施策番号24110は、解決策の中で「緑地の現状把握」について触れているが、いまだに現状認識が出来ていないというレベルでは問題がある。
- 施策番号32210は、解決策として、事業に優先順位をつけて取り組む旨を挙げているが、具体的に優先順位をどのように設定するかを示さないと、解決策として成立しない。
- A評価やB評価を与えられている施策について、評価基準をたまたま満たしているだけで、内容的には疑問を感じるものが少なくない。
- 多くの事業費を投入している施策については、より厳しい目で評価を行う必要があるのではないか。
- 特定の年齢層を対象とする事業で、事業の主な対象者が低評価を与えているにも拘らず、それ以外の人間が高評価を与えることによって、最終的な評価が高評価になってしまうのは問題である。
- 市民満足度については、施策によって評価対象者の年齢層を絞り込んでどうか。
- 施策番号31410から31430は、低予算の施策であるにも拘らず、解決策のレベルが高すぎる。投入される予算規模と解決策のレベルを合わせないと信憑性に疑問が生じる。
- 解決策になっていない解決策が多すぎる。
- 解決策については、3次評価のコメント欄にその旨を追記するが、現時点では翌年度の予算が未確定であるため、評価シートの作成の段階では明記できないことがあることも理解していただきたい。
- 予算が未確定であっても、プランを示すことは可能ではないか。
- 評価結果が次年度以降の取り組みに反映されるための拘束力は、どこで確保されているか。

- 「評価に関する委員の意見を直接、所管課に伝えていること」、「改善計画書の提出の義務付け」、「改善結果のホームページ上での公表」によって担保する。
- 平成19年度の局制導入以来、予算の相当部分が局長の権限に委ねられている。また、予算編成については、評価結果を反映できる形のスケジュールを組んでいる。
- 既存の方法によらないような解決案に対して予算化を認めるような市内部の体制整備が必要である。
- 各局長にヒト・金の経営資源を移管しており、各局長が真に自分のやりたい事業に予算を投入できる環境が整いつつある。

【3次結果報告書について】

- 7ページについてはB評価についても記載する場合、何か支障はあるか。
- 当委員会の進行管理業務のボリュームが増えることが想定される。
- 今回の評価でC判定を受けた施策だけでなく、AやBの評価を受けた施策についても課題があることを明記した上で、進行管理についてはC評価の案件だけに絞れば良いと思う。
- C評価以外に、今回、ヒアリングの対象となった施策についても改善計画書の提出を求める予定である。
- その様にされたい。
- 評価結果の公表については、もっと分かりやすいようにまとめたものを公表すべきではないか。
- 資料1の概要（1ページ目）の表が活用できると思う。
- パブコメにしても、市民の反応が薄い。何らかの対応が必要ではないか。
- 説明責任を果たすことの重要性は認識しており、最大限の取り組みを進めているところである。
- 説明責任を果たすことが目的なのか。
- あくまで、説明責任を果たすこと自体は行政の取り組みを進めていく上での前提であり、肝心なのは、その後の展開であると考えている。
- 年度ごとの改善の動きが、視覚的にわかるような公表の仕方を工夫されたい。

【決定事項】

- ◎評価結果については、指標設定に関する課題を明記し、評価を確定した。
- ◎3次評価結果報告書の序文は事務局案のとおりとする。
- ◎改善計画書の検証方法等については、次回検討するものとする。
- ◎次回の開催日は11月20日 午後7時00分からとする。

相模原市行政評価検討委員会委員名簿

氏名	所属団体等	出欠
吉田 民雄	東海大学教授	出
霧生 卓	公認会計士	出
野中 保	相模原市自治会連合会	欠
西條 政夫	相模原商工会議所	欠
佐々木亮一	相模原青年会議所	欠
伊藤 武	相模原地域連合	出
西本 敬	相模原ボランティア協会	出
出沼 聡	公募委員	欠
戸川 武彦	公募委員	出
西 秀秋	公募委員	出